



春に向け ～年も変わり、気持ち新たに～

● 女子バレーボール部、「春高バレー」(全国大会)でも躍動

1月5日(土)から埼玉スーパーアリーナで開催された第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会に、沼高バレー部が3年連続13回目の出場。1月5日に行われた1回戦、増穂商業(山梨)戦はセットカウント2-0で快勝。続く6日の北陸(福井)との対戦では、途中1セットを奪われたものの、しっかり立て直して2-1で勝利しました。7日の3回戦は、優勝候補の強豪、下北沢成徳(東京)との対戦。善戦はしたものの0-2で敗れ、ベスト16で大会を終えました。ベスト8以上という目標は果たせなかったものの、ベスト16は過去最高タイ記録であり、善戦の上で敗れた下北沢成徳が優勝を果たしたことを考えると、今後のさらなる活躍が期待されます。



全国大会を終えた女子バレー部は、休む間もなく、1月19日(土)からは県新人戦に臨みました。準々決勝までは順調に勝ち上がりましたが、準決勝で桜が丘高校に1-2で敗れ、残念ながら優勝はできませんでした。3位決定戦の安田女子高校戦は2-0で快勝して第3位になり、2月15日(金)から行われる中国新人大会に出場します。3年生引退後の新チームの活躍に期待しましょう。

● 第25回広島市立高等学校総合文化祭

1月9日(水)～13日(日)に、広島市青少年センターにおいて第25回広島市立高等学校総合文化祭(市総文)が開催されました。市総文は、広島市立高等学校の文化系クラブによる大会で、展示部門とステージ部門に分かれて日頃の活動の成果を発表する貴重な場となっています。広島市立高校の文化系クラブは、いずれもレベルが非常に高く、県のコンクールで優秀な賞を受賞したり、全国大会に出品・出場する作品・クラブが多く、とても見ごたえのある展示・発表となりました。



展示の部「書道」



展示の部「美術」



ステージの部「吹奏楽」

● 沼田町学校保健会 開催

1月10日(木)に、本校の黎明館で「沼田町学校保健会」の学習会と総会が開催され、沼田地区の小中学校・高校から、健康教育に携わる教職員・保護者が集まりました。学習会では、耳鼻咽喉科 くにもと医院 院長の國本 優先生を講師に招き、「耳鼻咽喉科の扱う病気について」をテーマで講演が行われました。豊富な図・写真を用いながらの説明で、理解がより深まる有意義な学習会になりました。



● 百人一首カルタ大会 開催

1月17日(木)に1年生が、本校の第一体育館で「百人一首カルタ大会」を行いました。例年、厳寒のこの時期に行われる大会ですが、会場では、クラスのプライドをかけた熱く激しい戦いが繰り広げられ、競技中は、生徒たちも寒さを忘れていたようでした。競技は、各クラスで4人組を8つ作って対戦する「団体戦」と、各クラスの代表4人が戦う「個人戦」で行われ、総合成績によって4組が優勝、6組と9組が準優勝に輝きました。



● 入試本番! 大学入試センター試験

1月19日(土)・20日(日)に、3年生183人が「センター試験」に臨みました。会場は、今年も広島市立大学。試験会場に向かう生徒たちを3学年と進路指導部の先生が出迎え、必勝の祈りを込めて「キットカット」や「合格アメ」を手渡し激励しました。緊張した面持ちで市立大学に着いた生徒達も、担任の先生らの励ましを受けて緊張がほぐれた様子でした。



今年のセンター試験の全国志願者数は573,344人で、新規卒業生数の増加の影響を受けて、昨年と比べて17,807人増加しました。多くの科目で問題の難化が見られた影響で、平均点は例年に比べて下がっています。国公立大学の志願者は、2月25日(月)から「個別試験」に挑みます。希望の進路実現のために、最後まで仲間と支えあいながら頑張ってください。

● 第5回大学模擬授業

1月24日(木)に、第5回の大学模擬授業が行われました。今年から、2年生だけでなく1年生にも対象を広げ、20の分野について受講希望をとり、複数回の参加を可能にしました。1年間で6回の模擬授業を設定しており、今回は、「外国語」「栄養」「国際」「医療」の4つの分野についての授業が行われました。近年人気が高まっている「医療」の分野では、吉備国際大学助教の平尾一樹先生が、「病院で働いている10の専門職」と題してお話をしてくださいました。専門的な立場から具体的な話をしていただき、生徒たちにとっては大変参考になったことと思います。



● PTA進路講演会

2月2日(土)に本校講堂で、PTA研修部会主催の1・2年生の保護者を対象にした進路講演会が開催されました。河合塾 中四国営業部の立原 孝子(たつはら たかこ)さんを講師に招き、「受験生の保護者になるために」というテーマで講演が行われました。講演会には72名の保護者が参加し、これから迎えるわが子の進路決定において、保護者としてどのように関わればよいかを学びました。入試情報だけではなく、家族間のコミュニケーションの取り方にも触れた内容で、保護者の方々にとって、非常に有意義な時間になったことと思います。



● 「選抜I」入試

2月4日(月)に、推薦入試に当たる「選抜I」入試が行われました。体育コースを含めて76人の募集定員に対して129人が受験し、緊張した面持ちの中学生の姿が朝早くから見られました。

3月6日(水)・7日(木)に一般学力テストを課す「選抜II」入試が行われ、320人の合格者が決定する予定です。希望にあふれ、やる気に満ちた新生が入学してくるのが待ち遠しく思われます。